

転倒・転落発生率

■項目説明

認知症があったり、病気の影響で意識が混濁している場合には、ご自分の周りのことが認識できず、あるいは、体のバランスを崩したりして、転倒したり、ベッドから転落したりします。このような患者さんが多い病院では率が高くなることがあります。

■定義・計算方法

分子＝入院患者転倒・転落レベル2以上該当件数

分母＝延入院患者数

■指標値

時点1：

(過去データ)

R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
0.15%	0.15%	0.25%	0.24%	0.28%

■補足説明

石川県立こころの病院の医療事故分類基準（事故レベル）

- ・レベル0：間違ったことが発生したが、患者さんには実施されなかった。
(実施されていたら、何らかの影響を与えた可能性があった。)
- ・レベル1：事故による患者さんへの実害はなかったが、何らかの影響を与えた可能性がある。観察を強化し、心身への配慮の必要性が生じた場合。
- ・レベル2：事故により患者さんへの観察強化の必要性とバイタルサインに変化が生じた。または、検査の必要性が生じた場合。
- ・レベル3：事故のための治療の必要性が生じた場合。本来必要でなかった治療、処置の必要性の発生や入院日数の増加。
- ・レベル4：事故による障害が一生続く場合。
- ・レベル5：事故が死因となった場合。

延入院患者数：患者さんが1日病院に入院すると1とカウントします。仮に1人の患者さんが50日入院した場合には50とカウントします。